

兵庫県議会議員

きし ぐち みのる
岸口 実

明石の未来のために
つよくてやさしい県政を



兵庫県議会議員 〒673-0882 明石市相生町2-6-5 TEL(078)919-1525 FAX(078)919-1527
岸口実 事務所 E-mail: kishiguchi1964@ybb.ne.jp URL: kishiguchi-minoru.net

Profile

- 昭和39年生まれ
- 神戸大学大学院法学研究科修士課程修了、龍谷大学法学部卒業
- 国会議員公設秘書 ●産業労働常任委員長
- 県議団幹事長 ●関西広域連合議会議員
- 議会運営副委員長 ○民主党県連幹事長
- 兵庫県みどり公社顧問
- 明石商工会議所顧問
- アカシクリエイティブクラブ幹事
- 明石野球協会会長 ○兵庫盲導犬協会顧問
- 日本警察犬協会支部長
- 社会福祉法人監事・NPO理事等

●は過去の経歴 ○は現在の経歴

兵庫の新時代を切り拓く



初春の候、みなさま如何お過ごしでしょうか。平素のご厚情に衷心より感謝申し上げます。

さて、平成27年は阪神・淡路大震災から20年の節目の年です。人口減少、地域主権の確立などの課題に立ち向かい、復興20年の歩みを礎とした兵庫の新たな時代を切り拓かなければなりません。

県議会においては昨年夏の政務活動費の問題をきっかけに、議員一人ひとりが襟を正し、県民と歩む新しい議会づくりに取り組むスタートラインに立っています。そのような中、昨年夏は政務活動費のあり方検討会の副座長、平成25年度決算特別委員会の副委員長を拝命し、重責を果たすことができました。

今年1年も県民、市民の皆様とともに安全安心、元気な兵庫の創造に粉骨砕身の覚悟で努力いたします。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年度決算特別委員会副委員長に就任 質疑に登壇

決算特別委員会の質疑では、依然として厳しい県の財政状況から選択と集中による事業執行とともに、各県民局に配分され地域課題の解決、活性化を図る「ふるさとづくり推進費」の有効活用や広報の充実による県民理解の促進等を求めました。また、国による子育て支援新制度への対応、緊急経済雇用対策などについて政策提言を盛り込み、県当局の理解をただしました。

日ごろの要望活動や決算委員会での質疑などの結果、1月に発表された平成27年度的主要施策に反映されましたので主な内容を紹介いたします。



新年度主要施策 地域主導の施策展開で元気創造

住宅、ホテル・旅館の耐震化促進

- ため池の保全条例の検討など総合治水推進
- 地域防災力の向上

医療ビジョンの策定

- 感染症対策など高齢者の見守り強化
- 子どもが駆け込める家・店の拡大など地域安全の確保

児童生徒の教科別つまづきポイントの重点指導

- 福祉・建設人材の確保など多様な人材の活躍支援
- 農業経営モデル拡大

県政で振り返る岸口実県会議員3期目4年の活動と実績

2011
H23年

阪神淡路の教訓を活かし 東日本被災地を支援

- 阪神・淡路大震災の教訓を活かした東日本大震災への迅速で効果的な支援
- 全国からB級ご当地グルメが結集、B-1グランプリを兵庫で開催。「明石焼き」の全国ブランド化に弾み
- 消費生活の安全安心の確保に向け県と全市町に設置された市町消費生活センターの協働体制が充実



2012
H24年

誰にもやさしい ノーマライゼーション促進

- 京速コンピュータ「京」の供用開始などの科学技術基盤の形成進む
- 県民あげて夏の節電に取り組む、再生可能エネルギーの活用も推進
- こども発達支援センターを開設するなどノーマライゼーションが促進
- 議会基本条例を制定、本会議での一問一答方式等の選択的導入



2013
H25年

南海トラフ巨大地震などに 備え防災対策

- 淡路島を震源とする地震への復興策を迅速実施。南海トラフ巨大地震など自然災害に備えた防災・減災対策が着実に進む
- こども医療費助成の対象拡大など、子育て支援を推進。認定こども園数が全国一
- 生涯スポーツの国際大会ワールドマスターズゲームズの2021年関西開催が決定



2014
H26年

地域安全対策、 企業支援などを強化

- 震災の経験と教訓を次世代や世界に伝える「阪神淡路20年－1.17は忘れない－」の取り組みを展開
- 危険ドラッグの撲滅に向けた条例制定や、防犯カメラの設置補助拡充など地域の安全対策を強化
- 産業活力あふれる兵庫を目指し県内企業への支援を強化

